

の安藤広太郎先生のところに行き、国富君を君の方でやとってくれないかと話をした。私はびっくりした。(笑声)役に立たないから農事試験場に出されるのかと不安な顔で見ていたんだが、2人で話し合って私は転任となり書類をつくり文部省までいったらしい。その内に私にも技師の椅子がとれたら、それ以後農事試験場の農の字も出ない。(笑声)

岡田先生は海洋気象台長になって神戸に行かれ、藤原さん、小野さん、築地さん等が残った。その時に総務部が出来て、総務部長が小野さん、藤原さんと築地さんが主任でわれわれも名前をもらった。その合議制でいろんなことをきめた。その上に中村台長が居られたが、台長は何も関係がない。岡田先生が東京に来た時九段近くのお宅に伺った。その折「どうも近頃は学者が書類を持って歩きたがって困る。やたらに印ばかりつきたがる。部だの、課だのを置くからいけない。これは係の主任で沢山だ。」と云われた。そこで課長がまた係主任に逆もどりした。係主任だと簡単なんです。たとえば私が係主任をやっている、何か新しいことをやりたいと思う時には岡田先生のところに行って話をして、先生の印を貰ってあとは庶務主任の奥山さんのところに行けばそれですむ。したがってその日の中にすんで了う。私が入った大正8年頃には技手が20人、雇員が30人位、あとは定夫だから、全部で60人位。ここに課長などをおくと役づきでないものはなくなってう位だった。

先生の第1の趣味は読書で、先生は本を非常に大事にし、きちんと整理した。気象台に本が整ったのは全く先生のお蔭である。私が地震の主任に命ぜられ、中村先生が東北大学に行かれた。一夜にして地震学者を作ると先生がよく云われる。当時大森博士の地震学が唯一のもので、ほとんど統計的なものであとは震源地を決めることばかりだった。「それではいけない。エラストシティーから入るべきで、それには今良い本がある。丸善の神田支店にガリッテンとジーベルグの本があったから、他の人が買わないうちに直ぐ買って来い。お金は持っていないだろうから」と云って20円を渡された。買って来たら、「それを一週間で読め」と云う。(笑声)随分無茶な話だが、ガリッテンのをほとんど徹夜でとうとう読んだ。おかしな話ですが、その時初めて等PS線を書いた。和達先生もよく御存知だが、当時は等発震時線なども書いてなかった。とにかく大森公式一点張りだった。岡田先生は地震の本までよく読んで、地震の研究はこの方向に進まねばならぬと考えて居られた。

次のような面白いことがあった。岡田先生が風邪でもひかれて、頭痛がしてしようがないと云われた。その時、えき子さんがにがい薬を持って来て飲ませた。これは何だと聞いたら、えき子さんがその時は未だ女学校に入らない時ですが、中将湯だと云う。「中将湯を飲んでこれ以上血のめぐりが良くなったら困るじゃないか」と云っ

て先生は笑われた。奥さんが頭が痛いという直ぐ中将湯を煎じて飲んでいたらしい。そしてえき子さんが煎じる役目だったので、先生が頭が痛いといったので中将湯を飲ませたわけだ。

先生は川柳が好きで、大谷先生の領分に入るがわい談もそうとうやられた。(笑声)まああまりひどい所は大谷先生におまかせして、先生はおならの話が好きで、中でも「おまえらは何を笑うと 隠居の屁」を好まれた。よく「隠居の顔が見えるようじゃないか」といわれたものだ。

われわれは昼の休みに食堂で必ず食堂会議と云うのをした。岡田さん、藤原さんは皆勤者で、私は時々さぼって和達さんなんかと野球をしたもの、時々ガチャンと、岡田先生がストープ会議をやっている所に球を入れた。するとひどいですよ。和達さんはあやまりに行ったことは一回もない。(笑声)私は好人物なので、私が何時も奥山さんにどなられた。

食堂会議ではいろいろの話が出たが、20回30回と同じ話もする。こうして洗練されたものが測候瑣談に出ているわけだ。あいずちのうち方がまた難しい。あんまりそらぞらしくやってもいけない。話の先は百も承知なんだが、「それからどうしました」等と聞く。

われわれが入った時は、もうお酒はあまり飲まなかったわけだが、何とか先生に沢山飲ませようと、大谷さん等と一緒にその予行演習をやったりした。「先生おめずらしいじゃありませんか？」から初めて……とにかく仕末の悪い人がそろっていたからね。先生は布佐に帰るには汽車に乗らねばならないが、興に乗ってくると、「君、汽車は延ばすよ」とか云って、なかなか面白かったものだ。

あまり長くなるので、この辺で終えることにする。

#### 日本気象学会創立75周年記念事業資金

##### 密附者名簿(4)

12月4日から昭和32年1月12日までに御寄附を頂いた方々(到着順)は次のとおりです。なお、これをもって申込領収証に代えさせていただきます。もし掲載漏れの方がありましたら至急御連絡下さい。

56. 田辺 三郎	6口	71. 旭川測候所	15口
57. 植田 利政	6口	72. 宮崎 本弘	6口
58. 井坂 末松	6口	73. 星合 誠	11口
59. 松野満寿巳	15口	74. 清水 逸郎	11口
60. 北 勳	6口	75. 住田多三郎	6口
61. 赤井 清康	11口	76. 松平 康男	6口
62. 沖 住雄	15口	77. 柴田 淑次	15口
63. 山下 洋	11口	78. 石丸 雄吉	100口
64. 小平 吉男	11口	79. 山口三重郎	6口
65. 小島貞八郎	6口	80. 北大低温科学研究所	6口
66. 大坪 敬吉	6口		
67. 高橋 喜彦	20口	81. 倉石 六郎	11口
68. 奥田 穰	6口	82. 六車 二郎	11口
69. 松村 信男	6口	83. 阿部 安三	6口
70. 一木 茂	6口	小 計	347口
		総 計	957口